

新たな施策の展開について

【樺原市ごみ処理事業が抱える課題】

- ・ ごみ減量・資源化率の低迷
- ・ 少子高齢化の進展などによる人口減少と社会構造の変化
- ・ 持ち去りの横行や不適正排出など自治会役員の負担増加
- ・ 都市化等による自治会加入や参加に消極的な世帯の増加
- ・ 遺品整理や片付け代行など新たなサービス業への対応

	H21	H22	H23	H29 目標
自治会加入率	87.0%	86.0%	86.0%	90.0%



【求められる施策】

- ・ ごみ減量・資源化など循環型社会の実現と事業の効率化
- ・ 高度化・多様化する行政ニーズに対応した持続可能な施策の展開
- ・ 地域の課題解決に自ら取り組む地域コミュニティの活性化に向けた取組
- ・ 法令違反（無許可収集等）が行われる余地のない、一般廃棄物収集運搬体制の確立

【取組 1】多様なニーズに対応した収集体制の構築

- ・ ごみの性状に応じた収集方法の見直し（粗大ごみのリクエスト（申告制）収集等）
- ・ 一時多量（臨時）ごみの収集
- ・ 一般廃棄物（家庭系・事業系ごみ）の処理対象物の拡充
- ・ ふれあい収集などの見直し

【取組 2】ごみ減量・資源化に向けた新たな取り組み

- ・ 紙ごみ（雑がみ）の分別回収
- ・ 事業者への分別指導や規制強化
- ・ 粗大ごみの有料化
- ・ 料金制度の見直し

【取組 3】地域活動の活性化に向けた新たな取り組み

- ・ 地域の特色を活かした回収体制の構築
- ・ 持ち去り対策と資源物の確保